

箕面市民会議 基本構想に相当する部分の提言(骨子・たたき台)

0. はじめに(市民会議からのメッセージ)

- ・市民会議の参加メンバーに共通する想いは、
「元気な箕面」を将来の世代に引き継ぎたい。
そのために、まちづくりの主体として、市民が“もっと”関わってまちづくりを進めていきましょう。
ということです。
- ・こうした想いから、次期箕面市総合計画の策定にあたって、市民の視点から提言を検討しました。
- ・今後、目指したい箕面市の将来像は「
・みのお」です。その想いは、
です。
- ・また、これからの総合計画は、行政だけのための計画ではなく、まちづくりの共通指針となる“地域の経営計画”として位置づけ、策定・実施される必要があると考えます。
- ・今後、提言の実行を後押しする方向で、次期総合計画が策定され、市民と行政が手を取り合ってまちづくりを進めていけることを望みます。
- ・市民会議も、
として、
をしていきます。

1. 今後 10 年の箕面市を取り巻く環境変化

提言にあたって、今後 10 年間の箕面市を取り巻く環境変化をどのように認識するかということは、とても大切だと考えます。

以下に、これからの箕面市のまちづくりを考えるにあたって、特に、重視すべき環境変化と、それをどのように受け止めていく必要があるのかという基本的な認識を示します。

(1) 少子高齢化の進行

- ・全国的な傾向と同様に、箕面市でも少子高齢化が今後さらに進んでいくでしょう。
子どもたちや高齢者が、安心して暮らせる社会をつかっていくことが必要です。
子育て世代が安心して子育てができる環境を整えていくことが必要です。
団塊の世代がビジネスでの経験をまちづくりの活動に活かしたり、元気な高齢者が生き生きと活躍している社会をつかっていくことが必要です。

(2) 地球環境問題の深刻化

- ・世界的な規模で、地球環境問題（温暖化、水不足、食糧問題など）は、ますます深刻化するでしょう。農業の重要性が今後高まっていくと思われます。

地球社会の一員として、より一層環境に配慮した社会を築く必要があります。

災害（風水害、地震）への備えも、より一層高めていく必要があります。

地産地消や農地の有効活用を図っていく必要があります。

(3) 産業・雇用環境の変化

- ・経済のグローバル化、労働市場の流動化などによって、産業・雇用のあり方は大きくかわるでしょう。様々な能力が発揮できるチャンスが広がる一方で、雇用の安定性が弱まることが懸念されます。充実した生涯がおくれるよう、人づくりがますます重要になるでしょう。

生涯にわたって職業能力を高めていくことのできる機会を増やしていくことが必要です。

“ 共働き ” がしやすい生活環境を整えていく必要があります。

(4) 成長から成熟へ（価値観の変化）

- ・効率性や成長を重視した社会から、バランスの取れた成熟した社会への転換が、より一層求められるでしょう。

効率性だけでなく、やさしさやぬくもり、思いやりのある社会、一人ひとりが大切にされていると実感できる社会を築く必要があります。

(5) 地方分権の進展

- ・道州制の導入など地方分権が進み、地方自治の責任はより一層重くなるでしょう。一方、国・府の支援もこれまで通りにはいかないでしょう。地域自治のあり方が、市民生活を左右していくと考えます。

行政任せでなく市民も主体的に関わりまちづくりを進めていく必要があります。

暮らしを支える産業の充実や、経済活動の市内での循環を高めていくことなどにより、財権確保につながる取り組みを従来以上に進めていく必要があります。

2. まちづくりの基本的な方針（哲学、根底におく考え方）

時代認識を踏まえ、これからの箕面のまちづくりでは、以下の2つ考え方を基本として、まちづくりを進めていくことが必要と考えます。

箕面市の魅力をさらに高めるまちづくりを進めていきます。

箕面の魅力を高めるにあたって使える地域資源は、箕面の山なみ、箕面らしい暮らし方（箕面らしい暮らし）、人材、地域のブランド力、充実した都市基盤、大学などがあげられます。

魅力を高めていくことにより、住民の定着、若い世代の流入を促し、一定の人口規模を維持することを目指します。それは、地域人材の確保や税収確保、ひいては箕面の宝を継承していくためにも重要なことと考えます。

財政が悪化していることから、これまでのように行政に頼るわけにはいきません。市民が“もっと”関わってまちづくりを進めていきます。

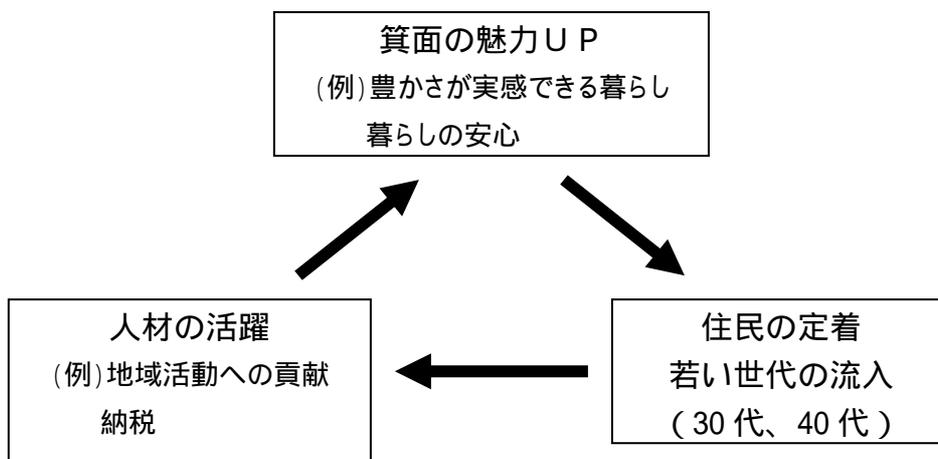
自助・共助・公助の考え方を共有し、“誰もが地域社会の担い手として、役割を分担し、互いに助け合うまちづくり”を進めていきます。

「自助」：自らのできることは自らが担おうという考え方

「共助」：役割分担をしながら共に助け合おうという考え方

「公助」：公（行政）を通じ、助け合おうという考え方

上記に示す方針により、この10年間、次のような好循環を生み出すことを目指します。



3. 将来都市像

(1) 「わがまち・みのお」の姿

“誰もが地域社会の担い手として、役割を分担し、互いに助け合うまちづくり”を進めていくことによって、10年後に実現したい「わがまち・みのお」の姿を以下の通り、定めます。

【検討チームで見出されたキーワード】

ひと、やま(自然)、みんなで育む(共助)、あした

将来都市像に込めた想い

(将来都市像についての解説を書きます)

(「検討チーム」での案)

“ひと”が元気、“まち”が元気、“やま”が元気

“ひと”が元気、“まち”が元気、“やま”が元気な「みのお」

人と自然が共生する「快適なまち」みのお

ひとが元気に集う自然豊かな近郊都市

人の暮らしが薫るまち

ひと、まち、やまが元気な自然豊かなまちみのお

人と自然が共生する快適な住宅都市みのお

自然と共生するひと・交流都市

(2) まちづくりの目標

「わがまち・みのお」の姿を実現するため、以下の5つの目標の達成を目指します。

	まちづくりの目標(案)	話し合ってきた想い
1	「箕面らしさ」を活かすまち 自然・文化・歴史を活かすまち	みのおの自然・まちなみ・住環境・歴史を、みんな(市民・行政の協力)で守り、伝えていこう! (箕面らしさということを守ろう、みのおらしさを活かそう、人を迎え入れる観光も含めて)
2	地球環境さきがけのまち 「エコ社会」を進めるまち	よそのまち以上に、環境対応型のまち(エコ社会)に率先して徹底して変わっていこう! (転換していこう)
3	「こどもたちの未来」を育むまち 人と人が関わり人が育つまち	子どもは“箕面の宝”! 子育て支援、青少年の健全育成、教育(学力+感性、体力、社会能力)をしっかりとしよう! コミュニティで子どもを育もう! 大人も含めて!
4	「箕面のあした」をみんなで創るまち	まちづくりと市民の関わりを伸ばしていこう! まちづくりと市民とが関わるシステム(自治システム)を整えよう。学んだことを社会に活かそう! (自己実現の生涯学習から、学んだことを社会に役立てる、生涯社会参加のまちへ)
5	いつまでも安心して暮らせるまち みんなで安心をつくるまち	いつまでも安心して住めるまちにしよう! (福祉、災害対策、防犯、人権)

・ 検討チームにおいて5つの柱立てについては概ね共有されました。(おおむねの行政分野をカバーできています)
 ・ 並び順については検討チームにて検討中です。
 ・ ネーミングについては、右のような案を出しあいながら、検討しているところです。

候補 ←	各自の案
「箕面らしさ」を活かすまち 自然・文化・歴史を活かすまち	自然・文化・歴史を大切にするまち 「みのおの宝」を守り育てるまち 「箕面らしさ」を生かすまち(2票) 街や山が自然・緑豊かな美しいまち
地球環境さきがけのまち 「エコ社会」を進めるまち	自然や環境にやさしいまち 環境への負を減らし地球環境さきがけのまち 地球環境さきがけのまち 「エコ社会」を進めるまち
「こどもたちの未来」を育むまち 人と人が関わり人が育つまち	地域で子どもをはぐくむまち 未来の世代を育むまち 地域で子供を元気に育てるまち 「こどもたちの未来」を育むまち 人と人が関わり豊かな地域をつくり未来に種を育てていくまち 人と人が関わり人が育つまち 子どもの命をはぐくむまち
「箕面のあした」をみんなで創るまち	「箕面のあした」をみんなで創るまち(3票) 市民が主役のまち 市民生活を中心としたまち
いつまでも安心して暮らせるまち みんなで安心をつくるまち	人の安心が見えるまち 安心して暮らせるまち 安心が元気をつくるまち (安心があってみんなが元気になる) 安全・安心に暮らせるまち みんなの「安心生活」を守るまち 安心して齢のとれるまち いつまでも安心して暮らせるまち
5	

以下は、検討チームで出し合った意見を分類・整理したものです。
分科会での検討成果を踏まえて、今後、調整していきます。

(3) 目指す「暮らしの姿」、「まちの姿」

5つの目標が達成されたときの、「暮らしの姿」、「まちの姿」を、以下の通りに考えます。

「箕面らしさ」を活かすまち / 自然・文化・歴史を活かすまち

《自然環境保全》

- ・乱開発を防止し、みどり豊かなまちづくりを進められています。
- ・山麓、山間部の豊かな自然の保全、山の手入れが市民主体で進められています。
- ・市外からも多くの観光客が訪れる箕面公園を、観光客も市民も心身をいやせるもっと魅力的な公園にするよう大阪府に協力します。
- ・生態系が健全に保持されています。

《河川》

- ・水循環の整備とともに、親しまれる川づくりが進められています。

《計画的な土地利用》

- ・箕面の資産である緑豊かな自然環境と歴史的遺産の保全と活用を基調に、地域・地区の特性を踏まえた総合的な土地利用がされています
- ・開発途上にある新市街地（彩都・森町）は、美しく魅力あるまちづくりにより、計画人口が達成されています。
- ・公有地が計画的に確保されています

《住環境》

- ・ワンルームマンションの建設が抑制されています

《景観形成》

- ・市民主体の活動により、景観に配慮した緑豊かな美しい町並や街路、公園が整備されています。

《歴史・文化》

- ・里山文化が大切にされ、伝統行事や地域の文化を未来の世代に継承されています。
- ・歴史環境が保全されています

《観光》

- ・快適で魅力ある観光地となっています
- ・大阪に来る外国人観光客のルートととなり、大勢の外国人観光客が箕面を訪れています。

地球環境さきがけのまち / 「エコ社会」を進めるまち

《緑とのふれあい》

- ・市街地の貴重な農空間を生かして、市民主体で自然とふれあう活動、地産地消が進められています。
- ・山に市民憩いの場所が確保されています

《地球環境保全》

- ・地球温暖化など深刻な環境問題に対し、市民や事業者と共に環境を守り改善する仕組みが作られ行動しています。

《消費生活》

- ・ゴミや廃棄物の減量、リサイクル、省資源・省エネルギーなど市民一人ひとりが環境を意識した生活を営んでいます。

《交通》

- ・生活に便利な公共交通が、受益者負担の原則のもと整備されています。
- ・マイカーから公共交通へシフトするようになっています。
- ・総合的な交通体系が作り出されています
- ・北大阪急行の延伸について、建設時及び開通後の市民の負担を充分考慮して慎重に検討が進められ、方向性が明らかとなっています。
- ・高齢者や障害者もっと車椅子で街に出やすい環境が整備されています。

「こどもたちの未来」を育むまち / 人と人が関わり人が育つまち

《子育て》

- ・仕事と子育ての両立ができ、安心して子育てができています。
- ・子育て支援の充実により、子育てに対する不安や悩みが解消されやすくなっています。
- ・子どもがのびのび遊び学べる安全な場が増えています。
- ・箕面の自然を生かした教育カリキュラムがつくられ、自然の中でこころ豊かな子供が育っています。
- ・スポーツ、マナーなどの指導に高齢者が関わり、青少年が健やかに成長しています。
- ・保育所と幼稚園、老人施設が一体的に整備されています。
- ・私立幼稚園通園者の補助のPRにより、他市からの転入が見られるようになっています。

《学校教育》

- ・子どもは「地域の宝」として、学校教育などにおいて、次の世代を地域の皆が育てています。
- ・30人学級の導入により、他市からの転入が見られるようになっています。

《生涯学習》

- ・市民主体で設けられた機会を活用して、市民一人ひとりが意欲と生きがいをもって生涯学習に取り組んでいます。
- ・地域の仲間と一緒に楽しめる文化・芸術やスポーツ、レクレーション活動の場や機会が増えています。
- ・新たな文化が創造・発信されています。
- ・大人たちが豊かな心を持っています。

「箕面のあした」をみんなで創るまち

《コミュニティ》

- ・市民一人ひとりや市内のあらゆる団体が地域の課題に積極的に関わり、それぞれが対等の立場で役割を担い、行政と協働してまちづくりを進めています。
- ・多くの市民が地域コミュニティ活動に参加し、お互いに交流を深めて協力しあい、地域生活の向上に努めています。
- ・市民の連帯意識とそれにふさわしい役割分担など、自らのまちは、自らでつくるという方向で考えが広がっています。また、これを市が積極的に支えています。
- ・市民自治組織が確立し、民主的に運営がされています。
- ・住民参加により、自治会、NPO、事業者への権限委譲が進められています。

《市民参加》

- ・世代や文化の違いを超えて、支えあいと協働による自立的な地域社会が形成されています。
- ・誰もが地域社会の担い手として役割を分担し互いに助け合ってまちづくりを進めています。
- ・政策の形成段階から参画するばかりでなく、行政とのパートナーシップのもとに政策の実行にも市民が参加しています。
- ・自治会、NPO、事業者等が提案権を有し、様々な提案を行っています。
- ・人がふれあい協働しています。
- ・市民だれもが「100年後を考えて、愛着と誇りのもてるまちづくり」という意識をもってまちづくりを考えています。

《行政経営》

- ・市の行財政の資料や情報が積極的に公開され提供されています。
- ・全市及び地域・地区別の情報が整備され、地域・地区の個性を尊重した地域コミュニティの形成が進められています。
- ・生活圏や交通圏の拡大に伴って広域的な役割分担と相互協力がされています。
- ・国・府・近隣自治体はもとより、関係団体・民間企業などと幅広く連携しています。
- ・長期的視点に立った総合的かつ、計画的な行財政運営がされています。

- ・行政運営の執行が効率化されています。
- ・健全な財政が堅持されています。
- ・市民、市議会と一体となって、権限及び財源の改善・確保など国に働きかけ、自治体としての主体性と自治権の確立に努めています。
- ・財政状況についての情報が市民にわかりやすく伝えられています。
- ・公共施設の有効活用を図るため再編整備がされています

いつまでも安心して暮らせるまち / みんなで安心をつくるまち

《健康・医療》

- ・身体も心も健康でいきいきとした暮らしが続けられるよう市民が自主的に健康づくりに取り組んでいます。
- ・高齢者の生きがいと健康を守るための介護予防の対策が進んでいます。
- ・必要な時には迅速に診療を受けるなど誰もが安心できる医療体制を整備されています。

《福祉》

- ・介護等を必要とする人も、障害のある人も、外国人も安心して暮らせるよう市民が助けあい支えあう仕組みが充実しています。
- ・子どもも、成人も、高齢者も世代を超えてともに人権を尊重しあい、思いやりの心を持って助けあい支えあっています。
- ・さまざまな働きにくさ、暮らしにくさを抱えた人の問題解決をともに考えていくネットワークが機能しています。

《防災・防犯・交通安全》

- ・市民主体の防犯・防災活動が行政や・警察の連携のもと活発に行われています。
- ・災害に強く安心して暮らせるまちとなっています。
- ・障害者や高齢者など災害時に援護を必要とする人への支援体制が強化されています。
- ・耐震性が向上され、市民が安心して公共施設を利用しています。
- ・避難場所が確保され、訓練が行われています。
- ・自動車・自転車と歩行者の分離など、子どもも高齢者も障害者も安心して歩ける歩行者の安全を優先する道路整備が進んでいます。
- ・情報の公開に際しては、個人情報保護が徹底されています。

《人権》

- ・命を尊び、男女はもとより誰もが平等で個性ある人間として互いに尊重しあっています。
- ・男女共同参画社会となっています
- ・世界に開かれたまちとなっています

《勤労者福祉》

- ・ 勤労者の福祉が充実しています

《雇用・労働》

- ・ 高齢者の雇用が拡大しています。
- ・ 女性が働きやすい街となっています

《交流》

- ・ デイケアセンターが小学校区単位で整備され、お年寄りと住民が交流しています。

下記は、今のところ上記にあてはまっていませんが、引き続き、検討していきます。

- ・ いきいきした夢のある暮らしをおくっています。
- ・ 箕面新都心、阪急箕面駅・桜井駅周辺は市民のふれあいの場として、買い物の場として活気にあふれています。
- ・ ニューメディアが活用されています
- ・ 避難場所となる施設の耐震化の工事が、市内の業者に発注されるようになっています

今後、記述していきます。

4. まちづくりの基本方向

5つのまちづくりの目標の達成にむけて、以下の方向で取組を進めます。

「箕面らしさ」を活かすまち / 自然・文化・歴史を活かすまち

地球環境さきがけのまち / 「エコ社会」を進めるまち

「こどもたちの未来」を育むまち / 人と人が関わり人が育つまち

「箕面のあした」をみんなで創るまち

いつまでも安心して暮らせるまち / みんなで安心をつくるまち

5. 地域経営のあり方 (別資料)

- (1) 地域経営のあり方
- (2) 次期総合計画の位置づけ・役割
- (3) 地域経営や総合計画の推進の仕組み・体制